

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.218
2021.12.20

特集

ライネルス中央図書館構想



NANZAN
UNIVERSITY

図書館のリニューアル工事をを行います!



創立75周年記念事業

ライネルス中央図書館構想 2022年4月着工予定



1964年2月頃 整備中のグラウンドの向こうに見える図書館

キャンパス移転と同時に建設された図書館棟

1946年、五軒家町のキャンパスで開学した南山大学は、1964年に現在の山里町のキャンパスへ移転しました。図書館棟はキャンパス移転と同時に建設されました。

1950年代には外国人教員を招聘し、アメリカ的な図書館運営(資料集中管理、延滞料徴収、海外直接発注等)を実践するなど、本学では早くから図書館の強化に取り組んできました。



時代を経ても変わらない図書館の存在

図書館はいつの時代も学生、教職員にとって学びの場であり、憩いの場となっています。授業の合間、試験前、卒業論文作成のため…たくさんの学生が図書館に足を運んできました。



時代とともに進化する図書館

図書館棟の建設から15年ほど経過した1980年、書架を増設するため、増築工事をし地下書庫を拡充しました。

建学の理念に基づいたカトリック文庫などのコレクションを形成しており、カトリック大学の図書館として相応しいキリスト教関係資料群が構築されています。

一方で、館内はアントニン・レーモンド氏が最初に構想した開架式書架の思想が現在も生きており、どの書架にも自由にアクセスできる構造となっています。

現在では、約75万冊の図書*、約1万5千種類の雑誌を所蔵し、電子ブックや電子ジャーナル、データベースも導入しています。とくにオンライン授業が進んだ昨今は、学外からもアクセスできる蔵書検索(OPAC)、電子リソースポータルを活用する学生が増えています。



昨今利用の進んでいる電子リソースポータル

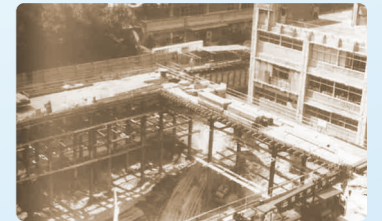


建学の理念に基づいたコレクションを所蔵しているカトリック文庫室

■ 所蔵数(2021年3月31日現在) (単位:冊)

名称	図書冊子		雑誌種類数		視聴覚資料点数	
	和漢書	洋書	和漢書	洋書	和漢書	洋書
図書館	421,874	327,868	9,179	5,676	23,665	5,698
合計	749,742*		14,855		29,363	

* 資産化資料のみ



1979年 地下書庫を拡充する工事の様子



キリスト教に関連する資料を集めた南山大学ならではのキリスト教コーナー

図書館リニューアル事業「ライネルス中央図書館」へ

さまざまな特徴をもつ本学の図書館ですが、一方では、長年の使用により、老朽化が進んでいます。2022年4月に着工予定の「ライネルス中央図書館構想」に込める想いを、山田望図書館長に伺いました。



山田 望 図書館長 (総合政策学部教授)

コンセプト 「であう」「つながる」「かわる」 -地の塩、世の光として真のイノベーションを実現するために-

「であう」 Encounter

人と人、人と資料(情報)、異なるグループが
であい、新たな発見をする図書館

人と人、人と資料が新たにであう、安全かつ
快適で魅力的な環境を創造します

「つながる」 Connect

人と人、人と資料(情報)がつながり、コラボ
レーションの触媒となる図書館

学生、教職員、地域社会の交流活動や連携
の強化を支援します

「かわる」 Transform

革新的イノベーションを生み出し、キャンパスの
なかで特別な空間となる図書館

「個の力を、世界の力に。」を実現します

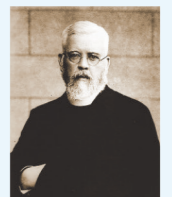
コンセプトに込めた想い

図書館の役割にも変化を求められる時代だと感じています。図書館は単に「図書を整理して管理する」という静的な存在ではなく、あくまで主体は「人」であることにこだわり、人々が出会い→つながり→自己変革に至るダイナミズムを内在するシンボリックな存在であるべきだと考えました。図書館という存在そのものが、学部ごとに縦割りになりがちな大学内の教員や学生たちを横の糸でつないでいく。例えるなら扇の要の部分となり、大学の価値全体を高める役割を担い、地域社会とつながり貢献していく重要な立ち位置だと思っています。

学園創立者のヨゼフ・ライネルス師の名を冠した中央図書館

創立75周年という節目の年の記念事業であることから、私は創立者であるヨゼフ・ライネルス師の生涯をつぶさにたどってみました。するとまさに彼の人生そのものが、「であう」「つながる」「かわる」を体現したものでした。彼はドイツの哲学者で、ボン大学で学位論文が高い評価を受けるも「学問はここまで」、と来日して「自由主義に基づいた、個性を尊重する全人一貫教育」を実践する学校設立に奔走するのです。世界恐慌もただなか、当時の日本社会を思えば大変なチャレンジだったと思います。出会いとつながりを大切にして、さまざまな場で彼の理念を丁寧に説明していくことで、賛同者たちからの寄附を集めて学校設立にこぎつけました。「高潔忠実にして、善良なれ」を標榜し、自己変革しつつ信念を貫き通した彼の人生に私は感銘を覚えました。

ハード面においても、著名な建築家アントニン・レーモンド氏による八事の山の地形を生かしたキャンパスの建築思想を受け継ぎ、図書館リニューアルを進めていく計画です。



ヨゼフ・ライネルス師

写真:南山アーカイブズ所蔵

ライネルス中央図書館構想実現のため、「創立75周年記念募金」を実施しています。皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/bokin/75th/>



2021.8.27

総合政策学部秋学期入学者卒業式

8月27日、フラッテンホールにて総合政策学部秋学期入学者卒業式を行いました。式典の様子はZoomでも配信され、後輩たちが見送る中5名の学生が卒業しました。



2021.9.14

2021年度9月卒業式

9月14日、フラッテンホールにて2021年度9月卒業式を行いました。指導司祭による祈りと聖書朗読の後、各学部、研究科代表者および博士後課程修了者に学位記が授与され、74名が卒業しました。



2021.9.14

2021年度秋学期入学式

9月14日、フラッテンホールにて2021年度秋学期入学式を行いました。式典の様子はZoomでも配信され、新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで入国できていない留学生も対象に実施しました。今年度秋学期は、学部生、大学院生、外国人留学生別科生合わせて56名が入学しました。



2021.9.11

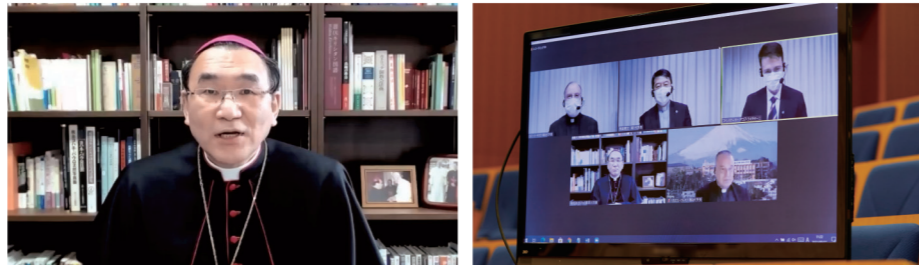
南山大学創立75周年記念式典・記念講演会

9月11日、オンライン配信にて南山大学創立75周年記念式典・記念講演会を開催しました。第1部「記念式典」では、指導司祭による聖書の朗読や学生・教職員の代表者による共同祈願などを行いました。共同祈願では、これまで本学を創り上げてきた先輩方への感謝とこの先の未来に向けての決意を共に祈りました。「記念講演会」に先がけて、青木清副学長より、「南山大学の礎「外専」からの75年」と題し、75周年の起点を南山大学の前身である南山外国語専門学校の設置とした意義や、それに対する思いについてお話がありました。第2部「記念講演会」では、菊地功カトリック東京大司教による講演「神言会のもう一つの顔」のち、菊地大司教と歴代学長による座談会「南山大学創立100周年に向けて～過去・現在・未来～」を開催しました。南山大学への想いやカトリック大学の使命の他、自身の学生生活の思い出など、さまざまなお話を聞くことができました。



▲共同祈願

▲キサラ学長の挨拶



▲菊地大司教による講演

▲菊地大司教と歴代学長による座談会

2021.9.25

保護者の集い

9月25日、南山大学と南山大学後援会の共催で、第49回南山大学「保護者の集い」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、全体会、後援会企画および学部・学科懇談会をオンライン配信にて実施しました。全体会では、キサラ学長と森下後援会理事長からのご挨拶の後、本学の新型コロナウイルス対応、学生生活、進路支援、2021年度の就職状況、国際教育について本学教員より説明しました。後援会企画では、「コロナ禍でどう変わった?新たな時代のキャリア教育を考えると」と題して、株式会社マイナビより講師を迎え、キャリア教育をテーマとした講演会を開催しました。



▲後援会理事長・森下様

2021.10.2~

野外宗教劇『受難』オンライン配信

10月2日より、本学公式YouTubeにて、課外活動団体「野外宗教劇」による第55回野外宗教劇『受難』の公演を配信しています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、伝統ある野外宗教劇を今年こそは公演したいという学生たちの強い思いにより、今年度は、事前収録したものをオンライン配信しています。学生たちの思いが詰まった公演をぜひご覧ください。



2021.10.15~10.28

図書館秋の企画展

10月15日~28日にかけて、南山大学図書館にて秋の企画展「南山大学創立75周年記念企画 図書館資料とともにふりかえる1946年」を開催しました。1946年当時の世相、出版物、映画作品についての資料、南山大学図書館の変遷について紹介されました。



▲図書館地下1階カウンター前にて実施されました

2021.10.27

南山大学附属小学校1年生校外学習

10月27日、南山大学附属小学校1年生の校外学習が南山大学で行われました。小学生たちは事前に決められたいくつかのチェックポイントを回り、普段入ることのない大学での体験学習を楽しんでいました。グリーンエリアやメインストリートを中心に、にぎやかな小学生たちの声が聞こえてきました。



▲外国人留学生と英語での会話に挑戦する小学生たち

2021.10.30~11.1

第72回大学祭「南山祭」

10月30日から11月1日の3日間、第72回大学祭「南山祭」を2年ぶりに開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策として1日あたり上限3,000名の入場制限を設けるなど、例年よりも規模を縮小し実施しました。今年のテーマは「緊(つなぐ)」。メインストリートに16店舗の模擬店企画が並び、教室棟ではバンド演奏や作品の展示・販売等を行いました。グリーンエリアに設置されたメインステージでは、バンド演奏や演技披露等、各団体が練習の成果を発表しました。南山大学同窓会主催の「ホームカミングデー」は、10月31日に「レセプション」および大学・同窓会共催の「南山大学創立75周年記念講演会」を開催しました。



▲グリーンエリアに設置されたメインステージ



▲教室棟でのバンド演奏

▲模擬店企画

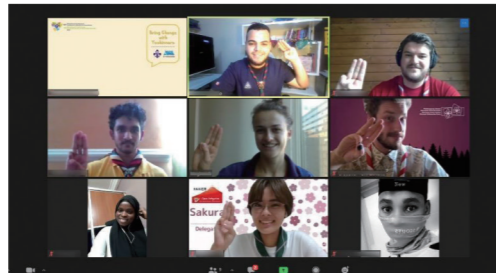
▲メインストリートに設置されたサブステージ

活躍する南山大生

世界スカウト機構主催の「世界スカウトユースフォーラム」「世界スカウト会議」に日本代表として参加

国際教養学部2年の小池さくらさんが、世界スカウト機構が3年ごとに開催する「世界スカウトユースフォーラム」と「世界スカウト会議」に、日本の正代表として参加しました。

小池さんは、日頃のボーイスカウト活動の中で課題意識を持ち、日本代表メンバーの選考に応募しました。世界各国のユース世代(18歳~25歳)の代表たちと意見交換や討議を行う「世界スカウトユースフォーラム」では、各国のスカウトで構成された少人数グループの仲間と話し合い、世界スカウト会議の議案書やフォーラム宣言文への修正案を作成しました。小池さんは他国のスカウトの熱意と主体性に圧倒されながらも、国際交流だけでなく、スカウト活動をより良くしていくための議論を行いました。



▲世界スカウトユースフォーラムに参加したグループの仲間と



▲国際教養学部2年小池さくらさん

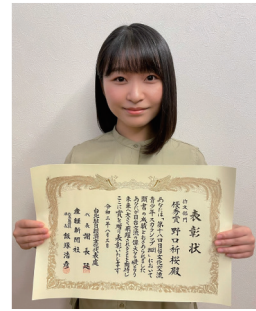
外国語学部アジア学科の学生が 「第18回 日台文化交流青少年スカラシップ2021」 作文部門で優秀賞を受賞

産経新聞社主催、台北駐日経済文化代表処共催の「第18回 日台文化交流青少年スカラシップ2021」作文部門で、本学外国語学部アジア学科4年野口祈桜さんが優秀賞を受賞しました。

「日台文化交流青少年スカラシップ」は、日本と台湾の青少年による文化交流の促進を目指すもので、「作文部門」「スピーチ部門」あわせて応募総数388

点の中から、野口さんの作文『素食との出会いと環境問題』が優秀賞に選ばれました。

野口さんの作文では、台湾でのインターン中に素食(ベジタリアン食)文化と触れた経験から、気候変動が深刻化し食生活の変革が求められる中での、新たな食との向き合い方について提案しました。



野口さんのインタビューをWebサイト:
「NANZAN Today」で公開しています。

経済学部の学生が、「第21回 全国学生対抗円ダービー」で 「ユニーク賞」「もう一步賞」を受賞

日本経済新聞社主催の「第21回 全国学生対抗円ダービー」で、本学経済学部経済学科稲垣ゼミ3年生の堀場友歌さん率いるチームが最優秀賞にあたる「ユニーク賞」を、高桑春美さん率いるチームが「もう一步賞」を受賞しました。

「ユニーク賞」を受賞した堀場さんのチームは、米国内富裕層の資産が増えるとドル高となる傾向を13年間にわたるデータで確かめ、「米民主党政権の富裕層への増税がドル安につながる」と予想。その着眼点が高く評価されました。また、予想順位では380チーム中4位となり、本戦でも表彰されました。

「もう一步賞」を受賞した高桑さんのチームは、新型コロナウイルス感染症対策として政府が実施した経済活動の抑制を数値化するために、英オックスフォード大が公表する日米の厳格度指数を使用して分析を進めました。



稲垣ゼミの皆さん
「ユニーク賞」を受賞した堀場さんのインタビューをWebサイト:
「NANZAN Today」で公開しています。

経済学部の川本真哉教授が、M&Aフォーラム賞奨励賞 「RECOF奨励賞」を受賞

南山大学経済学部の川本真哉教授が、第15回M&Aフォーラム賞において、M&Aフォーラム賞奨励賞「RECOF奨励賞」を受賞しました。

本賞は、M&Aに関する法律・経済・経営・会計・税務・社会・文化等さまざまな観点からの優れた著作、研究論文を表彰するものです。



受賞書籍
下谷政弘・川本真哉編
『日本の持株会社：
解禁20年後の景色』
有斐閣 2020年

ジェームズ・ハイジック名誉教授が、 「鈴木大拙・西田幾多郎記念 第3回金沢大学国際賞」を受賞

ジェームズ・ハイジック名誉教授が、「鈴木大拙・西田幾多郎記念 第3回金沢大学国際賞」を受賞しました。本賞は、哲学・思想・宗教の分野において、国

際的に多大な業績を挙げた研究者(1名)を顕彰するものです。

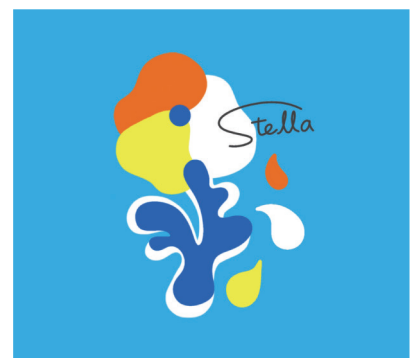
ハイジック名誉教授は、1979年南山大学文学部

助教授となった後、1987年同教授に就任。長年南山大学南山宗教文化研究所長を務め、2013年に南山大学名誉教授の称号を授与されました。

「すてらんコンテスト～Stellaのイラストレーターは誰だ!～」 投票数1位のイラストが決定!

7月～8月に募集した多文化交流ラウンジStella主催のイラストコンテスト「すてらんコンテスト～Stellaのイラストレーターは誰だ!～」学内投票を行いました。その結果、外国語学部アジア学科・杉山由花さんの花をモチーフにした作品が

見事第1位に選ばれました。この作品は今後、Stellaの広報に活用され、第1弾としてクリアファイルとミニ缶バッジが作成されました。これらのグッズはStellaのイベント参加者等に無料配布します(先着上限数に到達次第、配布終了)。



「オレンジ・黄色・青・白・黒」のカラフルな色を使って、Stellaへ様々な国から来ているみんなを表しています

来春開寮

南山大学ヤンセン国際寮

News

2022年4月、キャンパス隣に開寮する南山大学ヤンセン国際寮のトピックスをお伝えします。



ヤンセン国際寮で実施する教育プログラム

「ダイバーシティ&インクルージョン」をテーマとする革新的な教育プログラムを実施します。対話型のスキル養成講座には、多文化コミュニケーションやSDGs、リーダーシップ、クリティカルシンキングをテーマにしたものがあります。入居学生は、多様な価値観を持つ学生たちとの共同生活の中でその学びを実践しながら、国境を越えて活躍できる人材に必要な多文化共生の力、クリティカルシンキングの力、インクルージョン実践の力、変革と創造の力を養います。

ヤンセン国際寮をつくる「レジデントデザイナー」

レジデントデザイナーは、国際センターの教職員と協働でヤンセン国際寮のルール作りや、教育プログラムの一環である学生イベントの企画などを行う学生です。4月からの入居者を受け入れるための準備も進めていきます。ヤンセン国際寮の入居一期生にもなるレジデントデザイナーのアイデアを最大限に生かして、魅力あるヤンセン国際寮を作り上げていきたいと思います。学内での募集を通して、2021年11月から15名で活動を開始しています。



10月26日開催レジデントデザイナー任命式の様子



レジデントデザイナーにミッションが伝えられました



INTERNATIONAL FRIENDSHIP



日露学生フォーラムに参加して

期間：2021年9月12日、13日
形式：オンライン (Zoom)
参加者：金井妃菜さん (外国語学部フランス学科2年)

ない中でもオンラインでの交流を継続してきました。その実績の集大成として、国・場所・大学・専門・言葉・文化の枠を超え、日露の学生がお互いのアイデアや意見を交

わしあい、アフターコロナの新たな時代を切り開いていくことをスローガンに、第3回日露学生フォーラムがオンラインにて開催されました。

✉ 金井妃菜さん感想

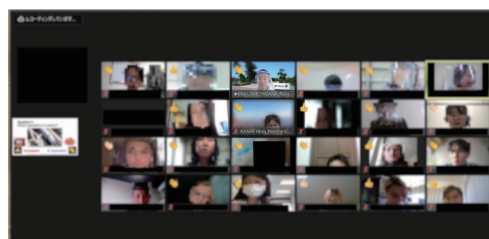
私は、これまで学内での国際交流は何度か経験してきましたが、このような国際的なフォーラムに参加したことはなかったため、参加することに迷いもありました。それでも、自分が知らない世界を見てみたいと思ったため応募しました。

私は社会科学系のセッションに参加しました。グループワークを通じ、国籍を超えて1つの課題に

取り組むことの面白さを感じました。また、参加者全員の学習意欲の高さに刺激を受けました。

今回の経験で、私は視野を広げることができたと感じています。世界には、まだ知らないことがたくさんあると改めて気がつきました。これからは更なる挑戦のために、語学力をより伸ばしていきたいです。また、今回のフォーラムでの出会いを大切に、今後も継続して、国内外の様々なことにアンテナを張り、行動していきたいです。

第2回日露学生フォーラム (2019年9月モスクワ国立大学にて実施) 以降、両国の学生によって立ち上げられた日露学生連盟は、コロナ禍において渡航がかなわ



セッションの様子



グループワークの結果



2021.9.22

在名古屋米国領事館首席領事 マシュー・センザー氏が来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。キサラ学長は今回の来訪を歓迎すると共に、COIL授業をはじめとした本学と米国のつながり等を紹介し、教育分野における日米交流について意見交換を行いました。



▲(左)マシュー・センザー在名古屋米国領事館首席領事
(右)キサラ学長

Special Events Schedule

2022.3.21

2021年度 南山大学卒業式

開催日時：2022年3月21日(月) 第1部 午後1時より
第2部 午後3時15分より

内 訳：【第1部】 外国語学部、法学部、理工学部、国際教養学部、
国際地域文化研究科、法学研究科、理工学研究科、法務研究科
【第2部】 人文学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、
人間文化研究科、社会科学研究科、ビジネス研究科

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、式典の内容を変更、または中止とする場合があります。

問合せ先：総務課 (Phone:052-832-3112)

Information

2022年度学生納付金改定について

2022年度南山大学学生納付金について、2021年3月26日開催の学園理事会において以下の通りとすることを決定しました。

◎学部学生(2020年度以前入学生)

理工学部を除く学部については、授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、3年次生および4年次生は現行の9,000円に据え置く。

理工学部については、授業料を現行の818,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。

◎学部学生(2021年度以降入学生)

理工学部を除く学部については、授業料を現行の750,000円に据え置くとともに、教育充実費を現行の240,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、1年次生および2年次生は現行の18,000円に据え置く。

理工学部については、授業料を現行の750,000円に据え置くとともに、教育充実費を現行の340,000円に据え置く。

◎大学院学生

理工学研究科および法務研究科を除く研究科については、授業料を574,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。

法務研究科については、授業料を1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

理工学研究科については、授業料を654,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。

【2022年度学生納付金徴収(引落)日】

・春学期(第1・第2クォーター分)

2022年4月12日(火)

・秋学期(第3・第4クォーター分)

2022年9月27日(火)

各学期の公示、および学納金通知はがきにてご案内いたしますので、ご確認ください。

寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

松岡オルガ様 池口裕子様
井関三香様 加藤 勝様 匿名ご希望者
牧 保博様 6名様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

田村誠久様 紅谷陽介様 木田洋子様
並川好孝様 竹内邦夫様 匿名ご希望者
1名様
日本税理士会連合会
会長 神津信一様 匿名ご希望者 1団体様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

高井千恵様 池口裕子様
牧 保博様 匿名ご希望者
7名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

神野未貴歩様 吉野和子様 大村博之様 石田 武様 杉本達哉様 中島経年様
荒木貴郎様 福島恵美子様 木越律子様 日美江末花様 齋藤立子様 高見裕子様
山田重人様 鈴木道夫様 小田茂樹様 古田 晃様 榎原和久様 中村弥寿子様
早川和美様 島 圭子様 鈴木英夫様 塩谷 圭様 野口和枝様 浅香幸枝様
武市直子様 星野知佳様 外山吉夫様 広瀬真理子様 伊藤多聞様
井関三香様 藤井規宏様 青木洋一様 須山亜由美様 小池淳子様
弓田 篤様 濱嶋健三様 安井信之様 伊藤 清様 川原田由里様
浅見夏代様 黒川 洋様 三品雅義様 日比野常二様 辻本千里様
富田節子様 仙田隆一様 村井雅彦様 前田俊子様 池田節子様
野口広巳様 戸谷克昌様 山田あき子様 岡本藤太様 川本俊治様
匿名ご希望者
34名様

抗原簡易検査キットの配布

コロナ禍で安心して課外活動、ゼミ活動を行うために、抗原簡易検査キットを配布しています。公式戦や公式行事への参加、県をまたぐ移動が必要な場合等の使用を想定しています。使用を希望される場合は、学生課に申請してください。